



OZIUM 2

取扱説明書



目次

はじめに	01
警告	02
オジウム2に関して	03
サイズ	04
ポッドの種類	04
準備	06
シート下部プロテクション	06
アクセルシステム	07
レスキューパラシュートの組込み	08
装着	12
調節	14
肩ベルト	14
リクライニング角度	14
レッグ・チェストストラップ	14
ポッドの微調整	15
装備	16
内蔵コックピット	16
ドリンクシステム	16
汎用ヘルメクロマウント	16
保守・点検	17
点検	17
ポッドの交換	17
仕様	19
素材	20
認証	20
トーイング	20
オゾン品質保証	21



OZIUM 2

始めに

オゾンを選んでいただきありがとうございます。

オジウム2は冒険フライト用にデザインされた驚くほど軽いXCポッドハーネスです。オジウムのコンセプトは数年にわたる激しいヒバークフライトならびに2回のレッドブルXアルプス、世界で最も過酷で厳しい冒険レースにおいて十分に実証されてきました。Xアルプス用プロトタイプをベースに少しばかりの耐久性と扱い易さを追加して、快適でパッキング容量のきわめて小さい軽量ポッドハーネスを求めているパイロットの素晴らしい選択肢となるものに仕上げました。オジウム2は成功を収めた先代に、少し手を加え構造を洗練し調節機構が改良されています。さらにより軽くなっています。パイロットはポッド群から好みのポッドを選択することが可能です:交換可能なポッドにより耐久性と温かさを自分好みのものにカスタマイズすることが出来、交換も簡単です。

フリーフライト愛好家、競技者ならびに冒険者のチームであるオゾンの使命は、最新のデザインと入手可能な最高技術から生み出される素材を使用して最高品質のパラグライダー用装備を創り出すことです。我々の開発チームは南フランスにベースを置いています。近くにはグルドン、モナコ、ブレンヌ峠などのフライトエリアがあり年間300日以上もフライトを可能にしてくれています。これはオゾンのグライダー開発にとって貴重な資産ともいえるものです。装備品の選択にあたっては品質および金額に対する価値が最も考慮されるものである事を知っています。それ故、低価格、高品質を実現するために全てのグライダー製品を自社工場で生産するようにしています。製造過程において全てのオゾン製品は多くの厳しい品質検査を受けています。そのおかげで、全てのオゾン製品は我々が期待する高いスタンダードに沿ったものとなっていることを保証できるのです。

オゾン、オジウム2あるいはオゾン製品に関してのさらなる情報をお望みの場合は、オゾンのホームページをチェックしていただくか、ファルホークインターナショナル(有)、最寄りのディーラー、スクールあるいはここオゾン本社の我々にご連絡ください。

このハーネスを初めて使用する前に、この取扱い説明書を良く読み内容を理解することは必須です。

安全なフライトを1
チームオゾン

注)説明用の写真として機能的には全くおなじであるために、一部フォルザハーネスのものを使用しています。予めご了承ください。

警告

- 全ての航空スポーツは肉体的損傷、麻痺を含む重大な怪我ならびに死亡する危険性の内在するものです。オゾン製品でフライトするには内在する危険性を完全に理解した上で行ってください。
- このオゾン製品の所有者であるあなたは、これを使用するにあたっては、あらゆる危険に対する全ての責任があなたに有る事を自覚して下さい。不適切な使用、改造は危険を増加させます。絶対にしないで下さい。
- 製造者、輸入代理店ならびに販売店に対する、この製品の使用に起因する如何なる損害賠償請求も除外されています。
- 可能な限り練習に励んでください—特にパラグライディングにおいて重要な要素であるグランドハンドリングを。地上での貧弱なグライダーコントロールが事故の原因の最たるものです。
- 常にこのスポーツの進化に遅れないよう上級コースに参加するなどして日々学習する習慣を身につけるようにして下さい。フライトテクニックならびに機材は進化し続けています。
- フライトにあたっては登録認証を受け、なおかつ改造されていないグライダー、プロテクション付きハーネス、緊急パラシュートを、その適正体重範囲内で使用して下さい。認証を受けた範囲を超えての使用は保険（賠償責任、生命など）の対象外になる危険性があります。保険会社に確認することはパイロットであるあなた自身の責任です。
- あなたの装備を徹底して日々およびプレフライト点検を実施してください。不適切あるいは損傷している機材では決して飛行しないで下さい。
- 常に、ヘルメット、手袋、ブーツを装着してフライトして下さい。
- フライトに際しては、適切な技能証と有効なフライヤー登録証を持っている事が必要です。
- 肉体的にも精神的にも健康な状態でのみフライトをして下さい。
- あなたの技能・経験に合ったグライダー、ハーネスならびにコンディションを選んでフライトしてください。
- テイクオフする前にフライト場所の地形、気象条件を必ず確認して下さい。疑問の有るときはフライトを断念して下さい。また全ての決定に対しては十分な余裕を持って下さい。
- 雨、雪が降っているとき、風の強いとき、気流の乱れているときあるいは雲中をフライトしないで下さい。
- あなたが適切で安全な判断を下すなら、未永くフライトを楽しむことが出来るでしょう。
- 環境に配慮し、エリアを大事にしてください。
- グライダーならびに関連装備品を廃棄する際には、環境に配慮した方法で行ってください。
- 一般の家庭ごみと同じ方法で廃棄しないでください。

楽しむことがこのスポーツの目的であることを忘れない様に

オジウム2に関して



🌀 サイズ

ハーネス本体はS, M, Lの3サイズあり、組み合わせ可能なポッドもS, M, Lの3サイズあるので幅広い身長ならびに体重のパイロットに対応します。下の表を参考にしてください。

パイロット身長 (cm)	ハーネスサイズ	ポッドサイズ	ライクラポッド [®] での重量 (kg)	570ポッド [®] での重量 (kg)	720ポッド [®] での重量 (kg)
155-165	S	S	2.36	2.39	2.65
160-175	M	S	2.40	2.43	2.69
170-185	M	M	2.46	2.49	2.74
180-195	L	M	2.50	2.53	2.78
190-205	L	L	2.53	2.56	2.82

* 重量には全ての標準装備品を含みます: 軽量フォーム、ジュラピナ、ポッド(コックピット、コックピットフォーム含む)、アクセルローブ(ブルンメルフック2個含む)、ポリカーボン製フットプレート、レスキューブライダル、インナーコンテナー付きレスキュートグル

🌀 ポッドの種類

オジウム2は交換可能でカスタム化が出来るポッドシステムを揃えています。オーダー時に3種類のポッドから選択することが出来ます。

- 1.ライクラポッド:** ライクラポッドは最軽量かつバックング容積が最小で熱心な軽さを重要視するピバークフライトパイロット向け。
- 2.570ポッド:** 570ポッドはライクラより暖かく耐久性のある中間の重量の選択肢。
- 3.720ポッド:** 720ポッドはオジウム2用として最も厚くかつ温かい選択肢。耐久性と温かさにかかわるパイロット向け。

🌀 標準装備品

オジウム2には以下のものが標準装備されています:

- 軽量バックプロテクション(LTF/EN認証)
- ポリカーボン製フットプレート
- 軽量コックピット(ライクラおよび570ポッド)
- フォルザ用フライトデッキ(720ポッド)
- アクセルシステム
- ジュラルミン製カラピナ

🌀 追加オプション品

オーダー時に以下のものがオプション選択可能です:

- フルムースバックプロテクション(LTF/EN認証) *
- 超軽量カーボン製フットプレート(ライクラポッドのみ) *
- バックプレート(軽量バックプロテクションのみ可)
- 面積の広いフォルザ用フライトデッキ(ライクラおよび570ポッド)
- フォルザ用アクセルシステム(テープ仕様)
- 無線ポケット

注) * 印のあるものは標準装備品からの変更になり差額が発生します。その他は追加オーダーとなります。



準備

シート下部プロテクション

オジウム2には標準でLTF/EN認証を取得しているフォームタイプのバックプロテクションが付いてきます。巧みにデザインされたプロテクションは軽小さいにも関わらず優れた衝撃吸収性能を発揮します。オプションとして同じくLTF/EN認証を取得している“フルムース”タイプのプロテクションも選択可能で、より高レベルの衝撃吸収性能と快適さをもたらしますが重量、容積共に増大します。

標準のバックプロテクションにはオプションで硬いバックプレートを追加することが可能です。フルムースタイプのプロテクションには適合しません。このバックプレートはハーネスの総合的な快適さとプロテクションレベルを上げることが出来、剛性が上がることで体重移動がよりダイレクトで反応が良くなりキャンピーからのフィードバックもダイレクトになります。

ハーネスが到着したらバックプロテクションをハーネスに組み込まなければなりません。

バックプロテクションをポッド内部、シート下に位置する前方から2番目にあるファスナーを開けポケットに挿入します。最前方にあるパラソポケットに間違っで無理やり挿入しないように注意してください。バックプロテクションには上と前のマーキングがされています。方向を正しく挿入してください。薄いほうは前に来るようになります。



プロテクションの大きさはぴったりポケットに入るサイズで無理することなくファスナーが締められる程度です。



オプションのバックプレートはバックプロテクションポケット内部でシートとプロテクションの間に挿入されます。プレートの大きく丸くカットされている方が前側に来るようにプロテクションの上に挿入してください。ファスナーを無理やり締めないように注意してください。



🌀 アクセルシステム

軽量のアクセルシステムが標準でポッドに組み込まれています。フォルザハーネス用テープで構成されたアクセルシステムはオプションで購入することが可能です。アクセルシステムは工場出荷時点で組み込まれていますが、もし変更したいなら、例えばフォルザ用のアクセルにアップグレードするように、以下の手順に従ってください。

まずアクセルロープからアクセルバーを取り外します。ロープの何もついていない端をハーネスサイドにある補強されているスリットに上から通します。



次にロープをプーリーがねじれていないかを確認しながらプーリーに通してからポッドの側面にあるスリットに通します。



アクセルロープが正しくプーリーを通りハーネスを構成している全てのテープの外側を通っていることを確認して下さい。ロープがハーネスを構成している如何なるテープにも絡まっていないことを再確認してください。ゴムロープを使ってアクセルバーをフットプレートに接続してからもやい結びでアクセルロープにアクセルバーを接続します。反対側も同様に行います。空中に出てアクセルを利かせることが安全であるコンディションであれば、アクセルバーに容易に足を乗せることが出来、システム全体がスムーズにフルアクセルまで稼働させることが出来るかを確認して下さい。

重要: アクセルロープは左右同じ長さでなければなりません。また、空中で力がかかって不用意にアクセルが利いてしまうほど長さが短くならないように十分注意してください。フライトする前に地上で長さと左右の対称性を再確認してください。

② レスキューパラシュートの組込み

オジウム2にはトグルと一体になった専用のインナーコンテナが付いてきます。ハーネスと一体となったレスキューコンテナは容量が3~6リッターのレスキューに対応するとして認証を取得しています。従ってエンジェル140や操縦可能なロガロタイプを含む最近のほとんどのパラシュートを収納することが可能です。

重要:ハーネスに付属する専用のインナーコンテナを使用することを強く推奨します。

警告:オゾンレスキューパラシュートの組込みは資格のある専門家によってなされるよう強く推奨します。疑問があるならば常に専門家のアドバイスを受けてください。

必ずシミュレーターにぶら下がり実際にフライトする状態からレスキューの引き出し試験を行ってください。これによりレスキュー開傘システムが正しく機能するかを確認できるだけでなく、組込み方法により精通するようになります。

レスキューは右側からのみ引き出すことが出来ることに注意してください。

レスキューを組み込むにはまず、専用のインナーコンテナの形に合わせてレスキューパラシュートをパッキングしなければなりません。



パッキングされたパラシュートをインナーコンテナに挿入し、通常の方法でサスペンションラインでインナーコンテナを閉じます。レスキューパラシュートのサイズに応じてハトメの位置を選択してください。

ハーネス側のプライダルとレスキューパラシュート側のプライダルを適切なコネクター（オプション）を使用して接続します。



オジウム2はショートプライダルのレスキューパラシュートしか組み込むことは出来ないことに注意してください。



ハーネスの背面に位置するレスキューコンテナのファスナーを引けばがし開放します。インナーコンテナについている白矢印とハーネスに付いている白矢印が合わさるようにインナーコンテナを挿入します。写真のようにサスペンションラインが外側（写真では下側）に、トグルが正しく向くようにセットしてください。

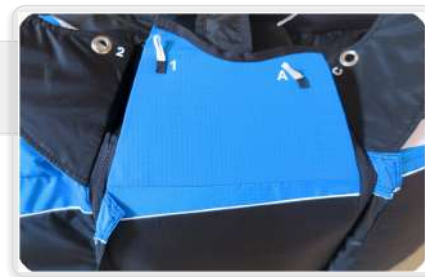


プライダルが絡まないよう、またレスキューパラシュートの左側（右写真での）にきちんと収まるように注意してください。





両側のファスナーのスライダーをレスキューコンテナの開口部へハトメまで完全にスライドさせた後、反対側へすっきりスライドさせコンテナを閉めます。



ボトムフラップ(写真で空色のフラップ)と干渉しない様に、レスキュートグルおよびトップフラップ(マグネットが内蔵されている黒色の小さいフラップ)をゆっくりと外側に引き出します。



"1"と"A"のマークがされているそれぞれのループに、適当なパッキングガイドロープ通します。

まず左側のフラップを閉めます:ループ"1"をハトメ"2"に通し、ループ"A"をハトメ"B"に通します。



次に右側のフラップを閉めます:ループ"1"をハトメ"3"に通し、ループ"A"をハトメ"C"に通します。

次にトップフラップを定位置に引き出します。レスキュートグルはトップフラップの裏側に収まります。レスキュートグルの左右に突き出ているナイロンロッドをトップフラップのハトメの上側にあいている隙間から外側に引き出します。



ループ"1"および"A"をトップフラップの左右のハトメに通し、それぞれのループにナイロンロッドを突き通します。次にトップフラップについているマグネットカバーをきっちりとトグルを抱きかかえるように回して相対するマグネットに固定します。

最後に、ナイロンロッドの先端を右写真の様に鞘に押し込みます。



装着

初めてフライトする前に、シミュレーターにぶら下がり、フィット感を確認しハーネスの特徴や調整に慣れるように推奨します。最もしっくりくるように肩ベルトを調整し、快適なリクライニング姿勢が取れるようにリクライニング角度を調整してください。



ハーネスを装着するにはまず、肩ベルトに両腕を通し、次にレッグ・チェストベルトを両足の間を通して引き上げます。

左右両側のメスバックルにオスバックルを通してレッグ・チェストベルトを締結します。



次に自動ポッドクローズシステムを接続します。左側のポッドフラップについている赤色のループにハーネスの右側に取り付けられているラビッドリンクにつながる赤色のボールを通します。





次に締め忘れ防止システムの赤色のループを右側ポッドのフライトデッキ左にあるハトメに裏側から通します。



左側ラピッドリンクの下にある赤色のボールを上述した締め忘れ防止システムの赤色のループに通します。



肩ベルトホールドストラップを締結します。



調節

肩ベルト

肩ベルトの長さを調整ストラップで変えることが出来ます。立ち上がった姿勢でぴったりするように調整します。次にシミュレーターにぶら下がり飛行姿勢をとって肩が抜けなくかつ押さえつけられていないか確認します。ゆる過ぎず締め過ぎずが良い長さになります。



リクライニング角度

リクライニング角度は快適なフライト姿勢が取れるように調整します。背中全体が完全にサポートされ腹筋を使わなくても快適な姿勢が取れるように正確に調整します。この調整はフライトでの快適性に大きく影響するので慎重な調整が必要です。過度に緩くすると、フライト中寝そべり過ぎた姿勢になります。

レッグ・チェストストラップ

レッグ・チェストストラップの長さはハーネスの全体的な安定性に影響を与えます。最大限の体重移動にはこのストラップを最も長い位置にセットします。ロール安定を強くするにはこのストラップを短くします。あなたのフライトスタイルならびに全体的な快適さに最も合ったセッティングを見つけるには、一度に大きく変えずにじっくりと時間をかけてテストフライトをしながら調整することが重要です。



大腿部サポート角度

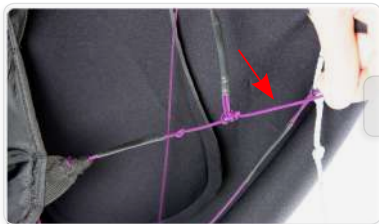
大腿部のサポート角度の調節は短めの紫色のロープにある結び目で行います。より高い位置の結び目を使用すると寄り大腿部を持ち上げるようになります。



ポッドの微調整

ハーネスは殆どのパイロットにフィットしさらなる調整は不要な様にセッティングされています。しかし、もしこのセッティングを変えたいと望むなら、それは可能です。この調整は空中ではできないので地上でする必要があります。ポッド先端にあるフットプレートは4本の紫色のラインでサポートされています。これらのラインがポッドの全長とフットプレートの角度を決定します。

ポッドの全長を微調整するには上側の締め忘れ防止システムのライン(グレー色)と下側の紫色のラインの結び目をずらすことで行えます。



下側の紫色のラインの結び目をずらすことでフットプレートの角度も調節することが出来ます。



重要:何かからの調整をしたならば左右のラインの長さが同じであるか必ず確認してください。調整をする際はあなたの気に入ったセッティングが見つかるまで十分時間をかけてください。調整は一度に少しづつ行って下さい。

装備



内蔵コックピット

ライクラおよび570ポッドには軽量コックピットが標準で付いてきます。より大き目のフォルザ用フライトデッキはライクラおよび570ポッドにはオプション設定ですが720ポッドには標準で付いてきます。計器類はコックピットに直接あるいは角度調整ベルクロを介して取付け可能です。空中でコックピットはチェストストラップの上に収まり計器の視認が容易です。

ドリンクシステム

オジウム2には、ドリンクチューブを取り出す開口部が左肩近辺に肩ベルトに固定するためのアンカーポイントが装備されています。



汎用ベルクロマウント

反対側の肩ベルトには、小型バリオ、スポット、無線機その他GPストラッキング装置を取り付けるためのベルクロテープが縫い付けられています。

無線ポケット

オプション設定の無線ポケットがハーネスの適当な位置に取り付けられるようになっています。



保守・点検

適切に保守・点検することでオジウム2は、未永くご使用いただけます。あなたのハーネスを美しくかつ耐空性を持たせ続けるには以下に挙げる事柄に注意してください：

- 紫外線、熱、湿度に過度に晒さない。
- ハーネスは乾燥させてから収納し、涼しく乾燥した場所に保管する。
- 絶対にハーネスを引きずらない。
- ハーネスにはほこり、オイルその他侵食性物質が付着しないようにする。
- 汚れを落とすには水と布を使用する。

点検

安全のためにあなたの全装備を定期的に点検することが極めて重要です。オゾンとしては、通常のプレフライトチェックに加えて12か月ごとに点検することを推奨します。

点検は、縫製、テープならびに構造的に重要な部分を目視して行います。摩耗が最も起きやすいカラビナ取り付け部近辺のテープは特に注意して点検する必要があります。

何らかの損傷があるか疑問がある場合は、ハーネスを専門家に点検してもらってください。

ポッドの交換

交換用のポッドはオゾンディーラーから購入することが可能です。長時間の使用あるいは事故の結果としてポッドが破損したりしてポッドを交換する必要に迫られたら、ポッドを取り外します：

1. カラビナから薄い赤色のポッドループを取り外します（メインのハングポイントループと間違えないように）。
2. 左右両側のファスナーを開放します。
3. ベルクロからポッドを引きはがします。
4. ポッドの両サイドのプーリーに通っている長いロープを取り外します。
5. フットプレートのゴムロープからアクセルバーを取り外します。

交換用ポッドの取付けは上記手順を逆順で行います。ポッドラインの接続にはヒバリ結びを使用し、薄い赤色のポッドループをカラビナに通すことを忘れないように（手順の1）。赤いループを使用すること。短い青いループはポッドをオジウム1ハーネスに取付けた場合に使用します。

重要: 赤いポッドループがカラビナに接続されてることを確認してください。そうしないいとファスナーに過度の荷重がかかり破損してしまします。

1. カラビナに接続された赤いポッドループ

2. ファスナー

3. ベルクロ

4. 紫のポッドライン

5. アクセルバー接続部



重要:赤いポッドループがカラビナに接続されてることを確認してください。そうしないとファスナーに過度の荷重がかかり破損してしまいます。

仕様

	S	M	L
ハーネス、カラビナ、トグル付きレスキューインナーコンテナー (g)	1300	1340	1380
ライクラポッド(軽量) (g)	540	570	600
570ポッド(中間重量) (g)	570	600	630
720ポッド(最厚手) (g)	690	730	770
軽量バックプロテクション(標準品) (g)	320	320	320
フルムースバックプロテクション(オプション) (g)	580	580	580
ポリカーボン製バックプレート(軽量バックプロテクション対応:オプション) (g)	195	195	195
ライクラおよび570ポッド用ポリカーボン製フットプレート(標準品) (g)	110	135	135
720ポッド用ポリカーボン製フットプレート(標準品) (g)	185	200	200
ライクラおよび570ポッド用カーボン製フットプレート(オプション) (g)	90	100	100
ライクラおよび570ポッド用アクセルシステム (g)	30	30	30
720ポッド用アクセルシステム (g)	70	70	70
ライクラおよび570ポッド用コックピットフォーム (g)	60	60	60
720ポッド用コックピットフォーム (g)	80	80	80

重量は全ての標準装備品を含んでいます: 軽量バックプロテクション、ジュラピナ、ポッド(コックピット、コックピットフォーム、2個のブルンメルフックを含むアクセルロープ、ポリカーボン製フットプレート)、プライダル、トグル付きレスキューインナーコンテナー

ポッドの種類

ライクラ製ポッド全装備重量 (g)	1060	1115	1145
570ポッド全装備重量 (g)	1090	1145	1175
720ポッド全装備重量 (g)	1345	1400	1440

重量は全ての標準装備品を含んでいます: コックピット、コックピットフォーム、2個のブルンメルフックを含むアクセルロープ、ポリカーボン製フットプレート

素材

外装生地(カバー)

ナイロンオックスフォード 210D PU2

構造生地

ナイロンオックスフォード 210D PU2

メインテープ

ポリエステル 15 / 25 mm

チェストベルト締結システム

軽量アルミ製バックル

レスキューブライダル

ダイニーマロープ 5 mm, 2400 kg

認証

オジウム2は最大重量を120kgとしてENおよびLTF認証を取得しています。またバックプロテクション(軽量およびフルムース共に)はCRITT(フランス)によりCE認証を取得しています。

トーイング

オジウム2はトーイングに使用することが出来ます。トーイングブライダルはメインのカラビナに取り付けてください。疑問がある場合は、資格のあるトーイングインストラクターに尋ねるか、使用するトーリリースシステムの取扱説明書で確認してください。

オゾン品質保証

オゾンでは我々の製品の品質に大変こだわっています。全てのオゾンハーネスは自社工場で最高のスタンダードに沿って作られています。製造されるハーネスの全てが一連の厳しい品質検査を受け、使用される部品は全て追跡調査が出来るようになっています。我々はユーザーからのフィードバックを大いに歓迎しますしカスタマーサービスも忘れていません。通常の磨耗や破損あるいは不適切な使用によるもの以外の製造上の欠陥および不具合に対していつでも無料で修理を行います。また、オゾンならびに代理店は、最高品質のサービスと修理を提供しています。ハーネスに破損、摩耗などの不具合が見つかった場合には適切な価格で修理をいたします。

ディーラー、代理店に連絡が取れない場合には、オゾンに直接コンタクト (info@ozone.com) してください。

最後に

安全に飛ぶことがこのスポーツで最も重要なことです。安全であるためには定期的に練習をし、周りに存在する危険を理解しなければなりません。このためには、出来るだけ定期的にフライトし、可能な限りグランドハンドリングをし、気象に関して常に興味を持たなければなりません。これらのどれ一つでも欠けていれば、不必要にあなた自身を危険にさらしていることになります。

毎年多くのパイロットがテイクオフで怪我をしています;その仲間入りをしないようにして下さい。テイクオフが最も危険に晒される瞬間です。テイクオフの練習をたくさん行ってください。いくつかのテイクオフエリアは小さくて難しく、コンディションも常に理想的ではありません。もしあなたがグランドハンドリングに長けていたなら、他の者が苦しんでいたとしても確実に安全にテイクオフすることが出来るでしょう... 出来る限り練習を積んでください。怪我をする確率は減り素晴らしいフライトを楽しむ確率は上がるでしょう。E

環境に配慮しあなたのフライトエリアを守ってください。ハーネスに寿命が来たなら全ての金属パーツを取り除き、環境に優しい方法で廃棄してください。

最後に、自然を敬ってください。自然はあなたが想像するより遥かに大きな力を持っています。あなたの技術レベルに照らし合せて適切なコンディションがどの程度であるかを理解し、その範囲内に常に留まってください。

オジウム2で楽しいフライトを
オゾンチーム

このハーネスに関するお問い合わせ先:

輸入者:ファルホークインターナショナル株式会社

〒154-0021 東京都世田谷区豪徳寺1-53-12

Tel: 03-5451-5175

Email: info@falhawk.co.jp

URL: www.falhawk.co.jp



1258 Route de Grasse
Le Bar sur Loup
06620
France

Inspired by Nature, Driven by the Elements

WWW.FLYOZONE.COM